

台東区タウンサイクル事業実証実験の延長について

1 タウンサイクル事業の目的

身近な交通手段として自転車を共有することにより、区民及び来街者の自転車利用の利便性向上を図り、併せて放置自転車の減少を図ることを目的としている。

2 実証実験の概要

(1) 目的

- ①通勤・通学用自転車の共有化 → 『放置自転車の削減』
- ②観光・ビジネス用自転車の共有化 → 『来街者の利便性向上』
- ③マンション内の自転車共有化 → 『自転車総量の抑制』
- ④その他波及効果について研究 → 『安全・安心な自転車利用の普及』

(2) 期間

平成30年5月11日～令和7年3月31日

(平成31年4月、令和3年4月、令和5年4月に各2年の再延長)

(3) 事業者

- ・OpenStreet株式会社 (平成30年4月協定締結)
- ・チャリチャリ株式会社 (令和5年7月協定締結)
- ・株式会社ドコモ・バイクシェア (令和5年10月協定締結)

(4) 区と事業者の主な役割

【区の役割】

- ・公有地をサイクルポートとして提供
- ・シェアサイクルの周知

【事業者の役割】

- ・民有地におけるサイクルポートの確保
- ・実証実験の実施に係る機材の整備や維持管理
- ・各種データの収集、整理

3 実証実験の実績

(1) ポート（乗り場）数及びラック数

【OpenStreet(株)】

	H30年 度末	R元年 度末	R2年 度末	R3年 度末	R4年 度末	R5年 度末	R6年 9月末
ポート数(箇所)	32	52	50	59	75	81	86
ラック数(台)	191	331	339	397	481	535	551

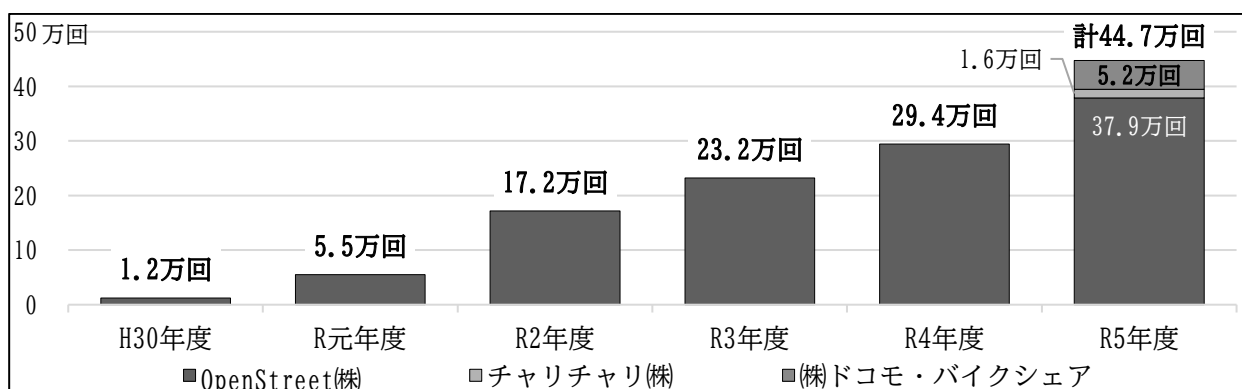
【チャリチャリ(株)】

	R5年度末	R6年9月末
ポート数(箇所)	21	21
ラック数(台)	120	120

【(株)ドコモ・バイクシェア】

	R5年度末	R6年9月末
ポート数(箇所)	17	24
ラック数(台)	129	167

(2) 利用回数



4 実証実験の延長

シェアサイクル事業の本格実施に向けた事業のあり方については、令和7年度に策定予定の（仮称）台東区自転車活用推進計画において、方向性を定めていく予定である。

したがって、この計画との整合性を図るため、令和7年度末まで1年間実証実験を延長する。

5 今後の予定

令和7年3月 実証実験に関する協定書 再締結